

みのり川信英後援会会報 **かえる**通信

No2(平成16年2月28日号) ホームページ <http://minorikawa.jp>

発行者 みのり川信英後援会 大曲市通町11-12 M・Aビル1階 TEL0187-63-5835

討議資料

ごあいさつ

みのり川 信英



平成16年も早いもので、はや3月を迎え、父英文の一周忌を目前に控えるまでになりました。昨年4月の父の死以来、6月の合同葬、翌月の出馬表明、10月の衆議院解散、そして11月の総選挙と、めまぐるしいばかりの一年ではございましたが、あきらめることなく最後の最後までご支援くださいました皆様方の熱く力強い思いに支えられ、未熟ながらも一人の国会議員として、郷里のため、そして日本のために精一杯働かせて頂いております。本日ここに皆様方の前で国会での活動報告をいたしまして、日頃のご支援、ご協力に対します心よりの御礼とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

さて、今年7月には参議院選挙を控え、ご支援下さっている皆様が一番ご心配をかけているのが、今後の私の去就についてのことと思われます。昨年の総選挙に際しましては、皆様方と亡き父との絆の深さが未熟な私を後継者として押し上げて下さり、更には既存の手法ではもうどうにもならないところまで来てしまった郷里秋田の経済や暮らしを、新しい力で何とか変えて行って欲しい…そういう思いが結集した結果が、私の勝利につながったものと深く肝に銘じております。そういう意味で、私は父の後継者として父がやってきたこれまでの仕事を引き継ぐと同時に、新しい時代の新しい政治の中で、既存の考え方や従来の手法にとられない真の改革を推し進める新しい勢力となるべき義務を担っていると考えます。

保守と革新、あるいは右か左かというような従来のイデオロギー対立の構図は、冷戦の終了とともに消滅しました。それではこれからの日本はどのような考え方、あるいは手法によって政治を進めたらよいのかということに関して、まだはっきりとした方向性が見出せず、混沌としているのが現状です。二大政党制についての議論、憲法に関する議論など、今後の日本の将来にとって本当に重要な課題であり、政治家のみならず、皆さんとも真摯に議論していかなければならないと思っています。

既にご存知のこととは思いますが、当選後間もなく「グループ改革」という院内会派を結成いたしました。「院内会派」というのは、



グループ改革のメンバーと

国会内における議員活動をする団体です。「政党」とは明確に区別されていますが、政党よりは内部規則が緩やかですから、ある意味政治家個人の意思を尊重した準政党的集合体と言えるかもしれません。一人会派では委員会のポストもひとつだけですが、院内会派を組むことによって、その所属議員数以上の委員会ポストを得ることができますし、運営にもある程度の発言力を持つことができます。当面はこの「グループ改革」を足がかりに、皆様にお約束いたしました公約を実現すべく努力して参りますと共に、今後の政治の行方やあるべき姿を冷静に判断しつつ、皆様方のご意見を十分に拝聴し尊重した上で、私が進むべき道を判断して参りたいと思います。皆様方にはご心配をおかけするばかりで 誠に申し訳ございませんが、どうぞ深いご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、三区より唯一人の議員として当選させて下さいました大勢の皆様のご恩とご期待を裏切ることのないよう、今後とも国政の場で全力投球をして参ります。父のとき同様に遠慮なく、陳情等あらゆる事柄で私を窓口として使っていただきたく思います。まだまだ未熟な私でございます。引き続き皆様方の熱いご支援、ご教導を賜りますよう心よりお願い申し上げます、御礼とご挨拶とさせていただきます。

みのりかわ のぶひで プロフィール

昭和39年5月25日 大曲市生まれ 39歳(あと三カ月で40歳)

大曲小学校、大曲中学校、横手高等学校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業、

衆議院議員・御法川英文私設秘書 コロンビア大学国際関係公共政策学大学院修士課程修了 衆議院議員・御法川英文 公設第一秘書

昨年11月衆議院総選挙で初当選 身長179センチ 体重85キロ 血液型A型 ふたご座 趣味は自転車と読書